

空の安全・安心を！闘う労組の解体阻止！整理解雇4要件を守れ！

京都のつばさ 街頭宣伝用ニュース 第26号 2014.6.18

日本航空の不当解雇撤回をめざす京都支援共闘会議・発行

(第34回定例宣伝)

京都市中京区壬生仙念町 30-2 ラポール 5F 京都総評気付 075-801-2308



稲盛和夫名誉会長は JAL165名の解雇撤回を！
稲盛イズムは世界の空を危険なものに！



私たちは 2010年大晦日に日本航空に解雇されたパイロットと客室乗務員 142名
です。不当な解雇は撤回せよ！と裁判で闘っています。ご支援よろしくお願ひします。

We are 142 crew members, pilots and flight attendants of Japan Airlines, who were dismissed on New Year's Eve 3 years ago. We brought this case to court in order to reverse this unfair dismissal.

(We were dismissed due to age discrimination and sick-leave record in the past.)

Your kind understanding and support would be greatly appreciated. Thank you.

우리들은 2010년 12월 31일, 일본항공사에서 해고당한 파일럿과 객실승무원 142명입니다. 부당한 해고에 대한 철회를 요청하는 재판을 걸고 투쟁하고 있습니다. 여러분께, 많은 지원을 부탁드립니다.

ブラック裁判だ！

JAL 解雇撤回裁判東京高裁不当判決

6/3CA 原告.6/5 パイロット原告に

ベテランパイロット首切り判決の日に

日本航空174便がシステム障害で欠航！

「もうけなくして安全なし」と JAL 稲盛名誉会長が言い、その薫陶を受けた社長が「安全は京セラのように内部留保・1兆円になってから言え！」というブラック企業・JAL。

またしても裁判所は整理解雇で165人の CA・パイロットの首切り有効と、ブラック企業・JAL に軍配を上げてしまいました。ベテランを放逐して、空の安全が心配です。そのパイロット裁判判決日の6月5日に、日本航空はシステム不具合による国内線運行トラブルを多発し、羽田発着便を中心に計174便が欠航し、約1万4000人に影響が出ました。

私たちの指摘どおりのことが不幸にも起こってしまったのです。まさに象徴的事態です。時事通信の報道によれば、「日航の不具合が生じたのは、機体のバランスを保つため、積み込む荷物の重量や重心を自動計算するシステム。5日午前9時15分ごろに発生し、社員が手作業で計算しながら荷物を積み込んだ」(6/5、21:39)とのことです。

これは単に労働者の雇用問題ではありません。市民のみなさんの命にかかわることなのです！ ぜひご支援よろしくお願ひします。

原告団は直ちに上告を決意！

首切り自由社会は決して許せません。

不当解雇された165名を職場に戻すため、「あの空へ帰そう！」、私たち国民の安全な空を取り戻しましょう。

